

科目名	アジア言語研究演習Ⅳ						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	外国語学部	配当年次	4 年次	単位数	2 単位
教員名	今西 利之						

授業概要／Course outline

「アジア言語研究演習Ⅲ」に引き続き、この演習では、日本語を母語としない多くの人々、外国に文化的なルーツを持つ大勢の人々が我が国における現状を把握し、多文化共生社会という観点から、彼らが我が国の社会の中でどのような問題点を抱えているのかを学びます。また問題点を改善するために日本語教育がどのような役割を果たすことができるのか、日本語教育の内容、カリキュラム、シラバス等にどのように反映させることができるのかについて考え、それを具体的な形にしていきます。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

演習

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／プレゼンテーション）
- 各自が設定したテーマに関する文献・資料等の内容を発表し、それに基づき議論を行う。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 オリエンテーション及び夏休み期間中の活動報告

この授業の授業概要、授業目標、評価方法の確認と、夏休み中の活動報告及び今後の作業の確認を行います。

第2回～第7回 研究の遂行と最終レポートの執筆

先学期に学んだことをふまえ、各自の研究を更に進め、最終レポートの執筆を行っていきます。。

※第5回目に「学生－教員間の対話」を行います。

第8回～第13回 最終レポートの執筆と成果の発表

各自の研究テーマに沿って具体的な研究活動を行い、その成果について最終発表を行うとともに、最終レポートを完成させます。

第14回 まとめ

2年間の取り組みをふり振り返りながら、その評価をします。「学習成果実感調査」を行います。

★専攻内のゼミ合同での卒業レポート発表会で発表および質疑応答を行い、これを1回分の授業とみなす。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 オリエンテーション及び夏休み期間中の活動報告

【事前学習】夏休み期間中に、各自が設定した課題に取り組む。

【事後学習】授業での議論を踏まえ、今後の作業の確認を行う。

第2回～第7回 研究の遂行と最終レポートの執筆

【事前学習】議論に参加できるよう、文献・資料等の読み込みや分析を行なう。発表担当者は発表の準備を行う。

【事後学習】議論を通じて明らかになったことを確実に理解する。また、与えられた課題を確実に行う。

第8回～第13回 最終レポートの執筆と成果の発表

【事前学習】議論に参加できるよう、文献・資料等の読み込みや分析を行なう。発表担当者は発表の準備を行う。

【事後学習】議論を通じて明らかになったことを確実に理解する。また、与えられた課題を確実に行う。

第14回 まとめ

【事前学習】2年間で学んだことを整理する。

【事後学習】最終レポートの作成を行う。

※卒業レポート発表会

【事前学習】卒業レポート発表会での使用する資料(スライド等)をその内容を精査しながら作成する。

〔事後学習〕発表、及び質疑応答を踏まえ、レポート作成を行う。

※事前学修の所要時間の目安は各授業90分、事後学修の所要時間の目安も各授業90分が必要です。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・多文化共生の観点から日本語教育の役割について説明できる。
- ・日本語教育の既存の教育内容や教材等を評価できるようになる。
- ・日本語教育の具体的な内容・カリキュラム・シラバス等を考える力を身につけ、具体的な形にできるようになる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|----------|-------------------|
| ・思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・主体性 | 【外国語学部 アジア言語学科】 |
| ・発信力 | ・言語に関わる調査・研究・発信能力 |
| ・協働性・協調性 | |
| ・倫理性 | |
| ・創造性 | |

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・日本語、日本語教育に関係がある科目を既に受講していることが望ましい。
- ・自らの意志で積極的に取り組むこと。

評価方法／Evaluation

期末レポート：40% 授業への参加度（発表を含む）：40% 課題等への取り組み：20%

※授業内で課した課題等は、添削の上、返却します。また、必要に応じてクラス全体にフィードバックします。

教 材／Text and materials

必要に応じて、ハンドアウト・資料を配付する。

質問や相談の方法／Instructor contact

- ・オフィスアワーは、ガイダンス配付資料及び外国語学部事務室前の掲示で確認してください。
研究室：第3研究室棟研究室15
- ・メールやMS Teamsでの質問や相談もできます。